



ニュースリリース

2017年7月13日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

## インドネシア/ PT. KRAKATAU OSAKA STEEL 向け省エネルギー型加熱炉の完工について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社(代表取締役社長 藤原 真一、本社:東京都品川区 以下、当社)は、インドネシアにおいて、大阪製鐵株式会社(大阪府)と同国鉄鋼大手クラカタウ社の合併会社である PT. KRAKATAU OSAKA STEEL(以下 KOS 社)の形鋼・棒鋼等圧延設備向けの省エネ型加熱炉(以下、本加熱炉)を完工しました。

本加熱炉は、ジャワ島西部バンテン州の KOS 社工場において、特にインフラ向けに今後需要の拡大が見込まれる中小形形鋼、鉄筋棒鋼及び平鋼を製造するコンバインドミル設備向けに新規設備として計画され、2015年6月に契約し、2017年1月より操業を開始しております。

本加熱炉に適用したリジェネレーティブバーナは当社が独自に開発したもので、以下の特長があります。

- ・従来の熱交換器方式(レキュペレータ)に比較し、高温に予熱される燃焼空気により、約10%の省エネルギーを達成
- ・NOx排出量を従来より50%低減
- ・均一な炉内温度分布の形成
- ・ガスノズル配置の改良により、長寿命化を達成しメンテナンス性を向上

当社製リジェネレーティブバーナのインドネシア国内における加熱炉への適用実績は PT. Gunung Garuda 社に続く2例目となります。

当社は、今後も日本国内、アジア地域を中心として、加熱炉の新設及び改造案件に積極的に対応し、独自のリジェネレーティブバーナ技術で、お客様のエネルギーコスト削減と環境負荷低減に貢献していく所存です。

### 【設備概要】

建設場所: インドネシア共和国バンテン州チレゴン・クラカタウ工業団地内

製造鋼種: 中小形形鋼、鉄筋棒鋼及び平鋼

生産量 : 約50万トン/年(フルアップ時)

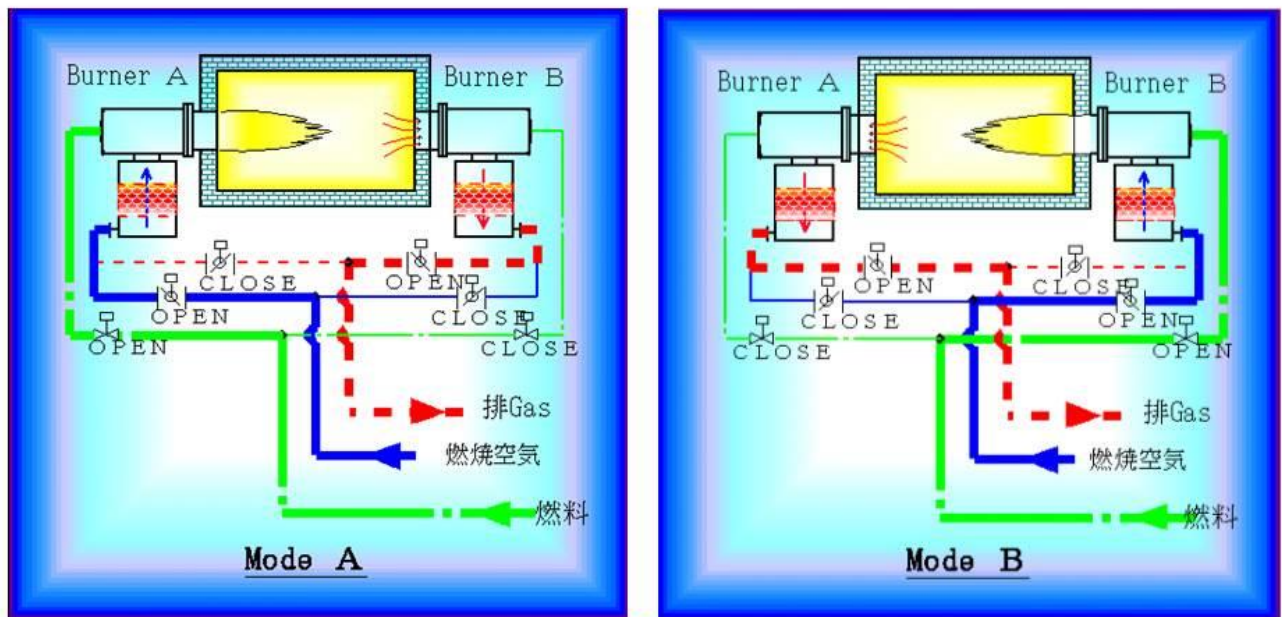
加熱炉能力: 120T/Hr



【加熱炉全景写真】

リジェネレーティブバーナの作動原理

～ 各々に蓄熱体を持った一对のバーナを交互に燃焼



	Mode A	Mode B
Burner A	燃 焼	蓄 熱
Burner B	蓄 熱	燃 焼

【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以 上